

あしなみ会だより

足立区精神障害者家族会
事務局：足立区千住4-3-9
TEL 3881-6400



2025年
7月号

6月から真夏並みの猛暑が続いている中7月がスタートしました。この7月、食品の値上げは2105品目、値上げラッシュは今後も続くと言われています。猛暑と物価の高騰で辛い夏になりました。どうか熱中症に気を付けて、この長い夏を乗り切ってください。

今年も区役所に七夕の笹竹がたてられ、様々な願い事が短冊に書かれ飾られています。～ささのはさらさら、のきばにゆれる おほしさまきらきら きんぎんすなご～ 子どもたちの声がきこえてきそうです。

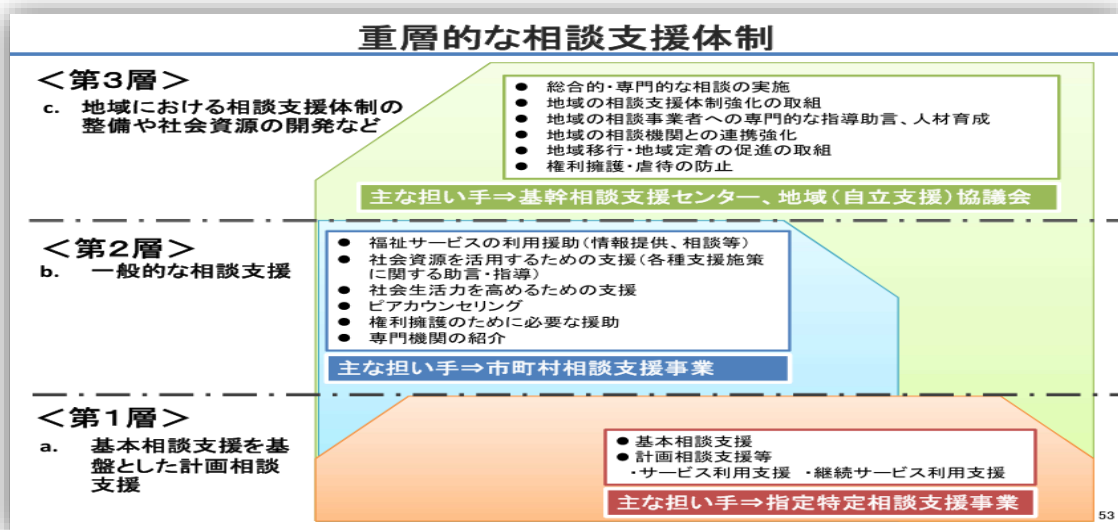
(石川 記)

<6月 あしなみ会例会 報告>

●足立区地域自立支援協議会 相談支援部会

6月11日(水) 14:00～16:00 あしすと5階会議室

重層的相談支援体制についてグループワークがありました。(国が示す重層的な相談支援体制のイメージは図のとおりです。)



相談に行かれない人、電話相談が出来ない、知らない人達が相談できるように、足立区ではラインアカウンタを設ける計画をすすめている。チラシも作成して配布するとのこと。荒川区では「アバター区役所」の計画もあるとのこと。「相談は、電話でもラインでもできるが、対面での相談が一番。意図が伝わりやすい。」と相談専門員の方がおっしゃっていました。

足立区では、10月から「就労選択支援事業」を始めるとのこと。就労選択支援というのは、障害者本人が就労先・働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、一般就労なのか、就労A型、B型、移行なのか、を本人の希望、就労能力や適性等に合った選択ができるよう支援する新たなサービスということです。

次回は10月に開催の予定です。

(報告…大和田)



●精神保健福祉情報ネットワーク連絡会

6月13日(金) 15:00～17:00 足立保健所2階会議室

「足立区での『精神障害にも対応した地域包括ケアシステム』構築の推進について」中央本町地域・保健総合支援課 精神保健担当係長からお話がありました。1.足立区地域自立支援協議会の報告 2.精神医療部会(あしなみ会からも委員を派遣しています)におけるこれまでの経過 3.「にも包括」の構築にかかる取り組み 4.長期入院患者の実態調査について 5.今後の取り組みについて 5つのテーマについてお話がありました。

4番目のテーマ 長期入院患者の実態調査は、精神科病棟に1年以上入院している長期入院者が退院後に地域生活を送る上で必要な生活基盤の整備および支援体制の構築を図ることを目的に聞き取り調査をおこなったとのこと。令和5年度におこなった第1段階調査での書面調査で「退院の意向が強い」「意向はあるが消極的」「意向が無い」と答えた人たちについて令和6年度に対面で聞き取り調査を実施した結果についての報告がありました。

長期入院により、退院のイメージが付きにくくなること、生活能力の把握が難しくなることが分かったと説明がありました。①入院生活が安心できる場であり、退院を望まない人もいる②地域生活への具体的なイメージが出来ず、退院へ意識が向かない③入院生活では自ら動かなくても生活できるので、生活能力が図れない④家族がいるにも関わらず、受け入れが出来ないために入院している人がいる。などの課題について、「横のつながりが大事…一人ひとりがかわりを持つこ

とを大事する」など、今後の取り組みにつなげていくことを示してくださいました。

後半は9つの班に分かれて「今、一番困っていることは？」をテーマにグループワークを行いました。グループの中には、保健師さん、就労B型、就労移行、グループホームなど支援の現場にいる職員さんなど様々な支援の専門家の皆さんと話し合いました。特に、B型（作業所）の職員からの「毎日出席していた人が、突然休んだりして、その理由が不明だったり、連絡が取れないととても心配になる」という発言に職員の皆さんの苦労が伝わってきました。いろいろな立場の人たちが思いや、経験、情報を交流することが出来ました。

次回は秋に開催されます。

（報告…N、富永）



●東京つくし会評議員会

6月19日（木）10:00～12:00 調布市文化会館（たづくり）

2024年度の活動報告・決算報告、2025年度の事業活動計画案、予算案が提案され、すべての議案について承認されました。

2025年度の事業活動計画については以下のとおり承認されました。

- 1) つくし会理事を計画的に世代交代できるようリーダーを育てる。
- 2) 運賃割引に関して100キロ以下の同伴条件廃止、すべての手帳所持者が割引対象となるように改善を求めていく。
- 3) ピアサポーター育成、ピアサポート活動の充実の要望に都の予算の増額もあり、ピア活動の充実に取り組む。
- 4) 障害者雇用促進法のもと、雇用率の達成に向け、様々な取組が推進されることを見守る。
- 5) 精神保健福祉法による強制入院制度の廃止を目指す。
- 6) アウトリーチの数を増やし、必要なサービスにつなげられる体制づくりを求めたい。
- 7) グループホーム開設に一定の支援の質が維持されるような都独自の基準を定め、職員の一層の研修の充実を図るよう求める。

（報告…樽見）

●東京つくし会講演会 6月19日（木）14:00～16:00 調布市文化会館 看護職からみた精神医療のこれから

～入院中心医療から地域医療を目指して～

講師の草地仁史氏（一般社団法人日本精神科看護協会 業務執行理

事、政策企画局局長）は、精神科認定看護師として看護職だけでなく、スクールカウンセラーとしての経歴もあり、山口大学大学院での講師、山陽学園大学大学院看護研究科准教授など多方面でご活躍されています。現在は、厚生労働省で看護技官として精神医療にかかる政策の提言もしておられます。

これからの精神科医療は、今までの入院中心から地域医療への転換を目指している。そのため、切れ目のない支援を担える看護人材の育成が必要となっている。虐待をはじめ患者への不利益が起きない看護職の倫理観の必要性が求められている、とお話くださいました。

看護職の方の倫理感がとても大事であると再認識しました。草地氏のような方が、これからの看護職の人材育成にかかわってくださり、倫理観を持った看護職の方が育ってくれることを願います。

（報告…樽見）



<講演会 報告> ～当事者の家族として望ましい姿～

講師：花田照久 先生 周愛巣鴨クリニック院長

I こころの病（こころの不自由さ）について

II 家族ができること

III リカバリーの考え方

いつもの笑顔でお越しくくださった花田先生。お顔を拝見するだけで、悩みのほとんどが大したことではなかったのかも、と思えます。今回は I・II・III の 3 つの視点からお話をさせていただきました。

「心の病」には統合失調症やうつ病とか。ほかにもいろいろある。知的障がいと発達障がい、違いはなんだろう。専門家からすると、それぞれの違いは、いろいろある。でも、脳が変化していることには変わりがない。精神科を受診する方には困っていることがある。困っている人がそこにいる。ということ。



病気・障がい者というが、それは、不自由があって困っている人では

ないかなと思う。困っていることがあって、不自由さを感じている人。家族は「病気」と考えないで、「本人は困っているんだ」と思っ
てほしい。患者さんが病院に来るのは、困っているから困っているこ
とをなおしてほしいくて病院に来ていると思う。統合失調症と診断され
ると、統合失調症の人、躁鬱病と告げられると躁鬱病の人、健常人と
は違う人と、本人も周りの人も思ってしまう。病気についての診断
はされるが、本人が困っていることの解決にはならない。

精神科の病名というのは、どんどん変化している。現在は国際疾病分
類「ICU」を基準に診断をしている。最近 11 版に改訂された。「ICU」
が改訂されるたびに、病気の状況は同じだけれど、診断の病名は変わ
ってきている。だから、病名にこだわらないで、一人ひとりが困って
いるところを困らなくすることが大事だと思う。

心の不自由さは、直接には命には問題がないが、生活の不自由さは
大きい。幻聴があると、幻聴に左右されてしまって自分の日常生活が
出来なくなる。幻聴に従うと、周りの人はおかしいと思う。病気を治
すのは幻聴を治す、と思いがちだが、とれない幻
聴もある。幻聴によって生じてしまったその人の
不自由さを周りの人たちで協力して助けてあげる
のが大事だと思う。「私には聞こえないけど、そ
れは困ったことだね。」と困っていることを聴い
てほしい。



困り方も同じ人は誰もいない。悩んでいること
も、みんな違う。教科書ではひとくくりになっているけれど、幻覚も
妄想も同じではない。よく聴いてみれば、みんな違う。患者さんにと
っての家族は困っていることに目を向けてほしい。

今は、調べれば、ADHD はこんな特徴があるとか、簡単に出てくる。
周りの人も、なるほどそうかと思う。でも、症状の出方がみんな違っ
ているから。教科書的な一般的なことにあてはまることもあれば、違
っていることもある。心のことを医学の枠に当てはめようとしても、
一人ひとりへの対応は違う。だから、医者は、統合失調症と診断して
も、成育歴を細かく聴く。**精神科医療はオーダーメイドだ**という医師
もいる。

精神障害を持っている人はみんなストレスの脆弱さを持っている。
「10 点満点の 10」を全部できないことを不安と感じ、不安はストレス
になる。「買い物できない人には、リハビリテーションとして練習す
ればよい。」というけれど、その練習がストレスになる。できないこ
とが不安になってしまう。我々が簡単にできることが彼らはできな
い。その人のストレスの強さを考えてあげてほしい。弱さを見てあげ

てほしい。

その人の全部が病気ではない。周りの人は、その人の不自由さばかりが見えて、100 パーセント不自由だと思ってしまう。そうすると本人もそうしてしまう。例えば、知ってる人と話すのは苦手だけど、知らない人と話すのはできる人もいる。できないことばかりではない。健康な部分を強くすることはできる。楽しいことを話したり、楽しい経験をしていると、健康な部分が広がってくる。一生懸命やったことを評価してほしい。ほめられれば元気になる。ほめなさい。自信になる。自信が増えると健康になってくる。本人にとって不自由さがなくなるわけではないが、めだたなくなる。

人はみんな復元力を持っている。幼い子供は、怒られても、次の場面では笑う。これが復元力。怒り方を知らない大人が続けて怒ると、それはいじめになる。安心できる雰囲気は大切。家族のイライラやつらさが表情や態度にでると、それは伝わる。そうすると本人は緊張してしまう。コミュニケーションは言葉だけではない。どこかに緊張せずに過ごせる場所があればいい。安心できる場所を作ってあげる。言っていることを聴いてあげる。何を言っても受け止めてもらえる雰囲気が大事。

健全な部分を尊重してほしい。子供扱いすれば、本人は怒るし悲しむ。分からなくても、本人はちゃんと聞いている。復元力を助長するように励ましてあげることが大事。それは、家族にとっては、相当厳しいことだと思う。誰もわかってくれないことが本人にとって一番つらいことのように、家族にとっても誰もわかってくれないことはつらいこと。支援者たちは、そばにいる家族は健康な者だと思って、家族をワーカーのように思っていることもある。支援者は、家族の疲弊を何とかしなさい。家族の疲れを何とか取らなきゃいけない。精神保健福祉の世界では、介護する人を介護しようと考えてこなかった。これからは、家族を支援しようと考えることが必要。



今まではなんでも家族が担っていた。病気になっても家族が支える。悪いことすれば、家族が頭を下げる。家族は無理して一生懸命やる。家族がいなくなると本人は困る。だからこそ、家族が元気でいるためには、なんでも相談してほしい。

「**家族として困っている**」と表現してほしい。家族はあんまり病気のこととか言いたくない。抱え込むことで孤立することもある。特に依存症の家族は困っていると言えないことが多い。でも、外に見えないようにしていると、

家族は地域から孤立する。孤立すると本人と一緒に家族も具合がわるくなる。SOSを出すことが大事。家族は相談できる場所にちゃんと行くことが大事。支援者は本人だけでなく家族を支えることがこれからの原則。地域で支えることが必要となる。

家族は本人の困ったことに一緒に困ってそばにいるのが良いのではないかな。

「精神科医療はオーダーメイド」「困っているから困っていることをなんとかしよう」「地域は家族も支えよう」心があたたかくなることばをたくさん！花田先生、ありがとうございます。（報告…桑原）

<足立区障害者団体連合会「対区要請集会」のお知らせ>



毎年夏に行われている標記の「対区要請集会」が今年も下記のように行われますので、皆様の参加をお願いします。

日時：令和7年7月31日（木）午後14時～16時
場所：竹の塚障がい福祉館1階第一会議室
内容：事前に区に提出している各団体の要望について、区側の回答を受け、意見交換をします。
区からは、関係部署の管理職の方々が出席されます。

足立区精神障害者家族会連合会（オリーブ会、あしなみ会）では以下の7項目についての要望を提出しています。

（ご意見などぜひ、お知らせください）

- ① 通過型グループホームでの訓練が期間内に目標に到達できなかった場合は、期間を延長して、訓練が継続でき、十分なスキルが身につくことができるように対応してください。
- ② 精神障がい者もB型事業所で在宅支援での利用が可能になることを願っています。区内の事業者が在宅支援に取り組めるように積極的に区からはたらきかけてください。
- ③ 「家族任せにしない社会の実現」に向けて、また、「孤独な家庭を作らない」ために精神障がい者が、家族の介護を担っている

「障がい者ケアラー」の実態について調査してください。また、その調査の結果をもとに有効な施策を講じてください。

- ④ 思春期における精神疾患の早期発見、早期支援のため、また共生社会の実現に向けて小学生、中学生を対象に、「こころ」をテーマにしたわかりやすいパンフレットの作成を昨年度、お願いいたしました。自立支援協議会の部会で、ワーキングチームができ、作成への取り組みを始めたと報告を聞きました。
今の進捗状況を教えてください。また、私たち家族会の思いや意見も反映してください。
- ⑤ 安心して、必要な時に必要な医療を受けたり、社会参加ができるように、公共交通機関の利用が難しい精神障がい者がタクシーを利用できるようにタクシー券を支給してください。
- ⑥ 精神障がい者の社会参加につながる経済的な援助として、精神障害者保健福祉手帳 2 級所持者にも福祉手当を支給してください。
- ⑦ 精神保健福祉手帳 2 級を取得している人にも、精神科以外の診療科を受診した際の医療費の助成を支給してください。

※参加してくださる方は、下記にご連絡をお願いします。

桑原 090-9961-0225

<あしなみ会だよりをお読みいただいている方へ>



平素よりあしなみ会だよりをお読みいただき感謝申し上げます。また、『家族会って何をしているの』と感じていらっしゃるご家族の皆様、懇談会、講演会等に参加しませんか。

病気のことは、インターネットでも調べることはできます。でも、家族が担っている苦労は誰が受け止めてくれるのでしょうか。家族会では家族も支援を差し伸べられる対象だと考えています。みんなでいろんなことを語り合い、わかちあいたいなと思っています。見学も歓迎しています。

関心のある方はどうぞご連絡ください。お待ちしております。

連絡先→ あしなみ会事務局 桑原芳枝 (090-9961-0225)

kuwahara@ashinami.or.jp 又は hahaha@ozzio.jp

【法人 理事会・定時評議員会報告】

事務局 岡崎

5月23日(金)令和7年度第1回理事会、6月3日(火)第2回理事会、6月19日(木)定時評議員会、第3回理事会がボンサンス・千寿にて開催されました。

冒頭、開会にあたり横内理事長から、お忙しい中、ご出席いただき感謝申し上げます。改選の時期となり、今回、退任される方、また、再任、新任の方々がいらっしゃいます。私も令和5年度より理事長に就任させていただき、皆様と共に様々な事を取り組ませていただきました。ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたしますとの挨拶がありました。第1回理事会に於いてはボンサンス・千寿移転について、第2回理事会に於いては主に令和6年度の事業報告と決算、社会福祉充実計画、定時評議員会に於いては第1回理事会の内容に加え役員の選任、第3回理事会に於いては理事長の互選等について、ご審議いただきました。

なお、各会議の審議事項は以下のとおりとなり、様々なご意見をいただきながら熱心に審議され、すべての案件が承認されました。令和6年度決算については別添のとおりに掲載させていただきますので、ご高覧いただければ幸いです。

< 第1回理事会 >

- ① ボンサンス・千寿移転について

< 第2回理事会 >

- ① 令和6年度補正予算(案)について
- ② 令和7年度補正予算(案)について
- ③ 令和6年度事業報告(案)について
- ④ 令和6年度決算報告(案)並びに監査報告について
- ⑤ 次期役員(理事7名・監事2名)(案)の推薦について
- ⑥ 社会福祉法人あしなみ社会福祉充実計画(案)について
- ⑦ 定時評議員会の招集事項(案)について
- ⑧ ボンサンス・千寿移転(資金調達等)について
- ⑨ 社会福祉法人あしなみ規程等の改正(案)について
- ⑩ 足立区精神障がい者自立支援センターの管理運営に関する基本協定書、年度協定書について
- ⑪ 什器物品類等の購入等(案)について



< 定時評議員会 >

- ① 理事 7 名、監事 2 名の改選(案)について
- ② 令和 6 年度決算報告(案)並びに監査報告について
- ③ 社会福祉法人あしなみ社会福祉充実計画(案)について

< 第 3 回理事会 >

- ① 理事長の互選について
- ② ボンサンス・千寿移転について
- ③ 什器物品類等の購入等(案)について



《 新評議員・役員の皆様 》

評議員	染谷 忠夫	理事長	横内 康行
評議員	西村 健司	理事	花田 照久
評議員	矢口 善朗	理事	三上 昌子
評議員	久保田 義徳	理事	吉島 徹
評議員	岡野 進	理事	久保田 富士江
評議員	村岡 徳司	理事	竹内 淳
評議員	高橋 和彦	理事	森澤 美穂
評議員	木村 実	監事	小久保 隆
評議員	松村 浩平	監事	落合 知子

これまで評議員、役員としてあしなみの発展にご尽力いただきました山崎美也子さん、高橋千尋さん、藤田邦威さん、金子孝一郎さん、松村浩平さんは、この度退任されました。長い間ありがとうございました。なお、松村浩平さんは、新たに評議員に就任いただきました。

今後ともご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

社会情勢が変化する中、このような時こそ、法人理念「誰もが安心して暮らせるあたたかな地域づくり」を目指して、さらに努力して参りたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

一句



・ 亡き叔母から 茄子のシギ焼き 教わりて

・ 夏の朝 欠伸二つの 平和の日

馬蕉

< 社会福祉法人あしなみ 令和6年度決算書 >

・ **資金収支計算書**

勘 定 科 目	決 算 額
事業活動収入計	367,613,055
事業活動支出計	357,831,450
事業活動資金収支差額	9,781,605
施設整備等収入計	1,690,000
施設整備等支出計	6,413,930
施設整備等資金収支差額	△4,723,930
その他の活動収入計	0
その他の活動支出計	1,524,837
その他の活動資金収支差額	△1,524,837
予備費	0
当期資金収支差額合計	3,532,838
前期未支払資金残高	295,793,045
当期末支払資金残高	299,325,883

・ **事業活動収支計算書**

勘 定 科 目	決 算 額
サービス活動増減収益計	365,988,410
サービス活動増減費用計	359,415,139
サービス活動増減差額	6,573,271
サービス活動外収益計	1,071,564
サービス活動外費用計	0
サービス活動外増減差額	1,071,564
経常増減差額	7,644,835
特別収益計	1,690,000
特別費用計	1,690,000
特別増減差額	0
当期活動増減差額	7,644,835
前期繰越活動増減差額	308,683,155
当期末繰越活動増減差額	316,327,990
基本金取崩額	0
基本金組入額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	1,524,837
次期繰越活動増減差額	314,803,153

・貸借対照表

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	325,132,712	流動負債	30,561,095
固定資産	241,113,458	負債の部合計	30,561,095
基本財産	10,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	231,113,458	基本金	10,000,000
		国庫補助金等特別積立金	2,098,816
		その他の積立金	208,783,106
		次期繰越活動増減差額	314,803,153
		純資産の部合計	535,685,075
資産の部合計	566,246,170	負債及び純資産の部合計	566,246,170

・財産目録

資 産 ・ 負 債 の 内 訳		金 額
資産の部	現金預金	272,979,402
	事業未収金	49,853,875
	未収補助金	2,283,000
	立替金	1,900
	原材料	14,535
	基本財産	10,000,000
	建物	10,436,280
	構築物	25,786
	機械及び装置	4,388,129
	車両運搬具	2
	器具及び備品	4,813,147
	電話加入権	72,000
	修繕積立資産	140,528,320
	経営安定化積立資産	64,346,770
	工賃変動積立資産	3,908,024
	差入保証金	2,595,000
	資産合計	566,246,170
負債の部	流動負債	16,146,185
	負債合計	30,561,095
差引純資産		535,685,075

＜移転プロジェクトの進捗状況 報告②＞

購入を検討していた物件ですが、申し込み後、購入条件が当初と変わってきたこと、また、立地的に工事が困難であることが判明したため、断念することとし、6月19日の理事会に諮り承認されました。

今回の物件購入に際し、購入条件の変更への対応、また、事前に建築可能であるか確認にするなどし、法的には建てられるが、物理的には建てられないということもある等を学び、勉強になりました。次回以降この経験を生かしていきたいと思います。

また振出しに戻ってしまいましたが、気持ちも新たに、引き続き移転先を探していく所存です。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



＜令和7年度第1回 精神保健福祉情報ネットワーク連絡会＞

6月13日（金）足立保健所にて標記の連絡会が行われました。今回は足立区での「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築の推進について、情報交換等が行われました。

まず、中央本町地域・保健総合支援課の田中精神保健担当係長、地域活動支援センター長の森澤さんから、足立区地域自立支援協議会の成り立ちや精神医療部会のこれまでの経緯、「にも包括」構築の取り組みなどについてお話をいただきました。特に長期入院者の実態調査に基づく退院促進に向けての取り組みなど、具体的な数字を挙げて詳細な説明がありました。

グループワークでは、「利用者が困っていること/支援した内容」「支援した内容で利用者が満足したこと/うまくいかなかったこと」

について話し合いました。特に住まいや金銭管理、精神以外の疾病等、その対応について共有・情報交換しながら、自分たちの考える「にも包括」ケアシステムについて学ぶ良い機会となりました。



◆◆◆ トピックス ◆◆◆

< 萌 作 業 所 >

6月16日のウォーキングは梅田にあるバッティングセンターに行きました。6月とは思えないような暑い日でしたが、メンバー6名、実習学生2名が元気に参加しました。バッティングをする人もいれば応援する人もいて、冷たい飲み物がとても美味しく感じられました。

○毎年恒例のバッティングセンターにみんなで行きました。何度かボールがバットに当たってうれしかったです。(nobu)

○暑い日でした。私は応援に行きました。皆ボールに当たる人、当たらない人様々だった。1回でも当たればすごいと思う。(T.M)

○20年ぶり位にバッティングセンターへ行きました。超低速の球を選びましたがかすったのは2球だけでした。楽しかったです。(J.S)



< ボンサンス・千寿 >

お昼休憩中にメンバーさんの好きな音楽のリクエストをいただき、パソコンで曲を流しています。一人ずつ順番にリクエストした曲をかけながら、「この曲いいね!」「懐かしい曲だね!」など会話が広がり、楽しいひとときを過ごしています。作業中もカフェミュージックを流しているので、ボンサンスにお立ち寄りの際は、ぜひ耳を傾けてみてください。

○なんとなく午前中が過ぎ、ご飯を食べ、自分は演歌が多いのだが、何となく心が和やかになる。午後も頑張るぞ!(Y.Y)

○ちょっと前の曲が好き。作業中は音量がちょうど良くて、程よく集中できる!(M.T)



< 協立作業所 >

善意銀行で申し込んでいた台湾バナナがたくさん届きました。1つの房がとても大きく、持ち上げるのも大変な重さでした。初めて口にするメンバー、職員も多かったのですが食べてびっくり!! ネットリとしてとても甘く、濃い芳醇な香りで「おいしい」「甘い」「味が濃い」と大絶賛でした。4日間バナナを毎日いただき、それでも残ったものは1本ずつ冷凍して、バナナジュースにしてみようかと思っています。ご寄付者様、ありがとうございました、



<アトリエほっと・しかはま>

5月29日(木)作業所にて防災訓練(水害)を行い、利用者22名、職員7名で参加しました。動画『足立区が沈む』を視聴しながら水害の恐ろしさや起きた時の対処方法等を確認しました。その後は足立区から支給していただいた「洪水ハザードマップ」を使って各利用者のお住まい周辺の浸水深や避難方向等を把握することができました。今後も定期的

に開催し、防災意識を高めていきたいと思います。

○足立区は川が多いと改めて思いました。

○これからのためになりました。

○防災はもしもの時のために大事なので、勉強になりました。



<綾瀬スマイル工房>

綾瀬スマイル工房では、今年度も満足度調査を実施しています。前年度、やりがいを感じた作業、今後も続けたい作業、印象に残っているレクリエーションなど、前年度について、一人ひとりにアンケート調査を行っています。レクの内容や作業内容に大きく反映させているのですが、毎年、メンバー皆さんの意見の多様さに驚かされます。今年度もメンバー皆さんの意見を活動に活かして行きます。



<Z i P>

6月7日(土)に ZiP/WiZ 合同で今年度第1回目のレクリエーションを行いました。貸し切りバスで茨城県の大洗水族館と守屋 SA へ、メンバー15名・職員6名で行ってきました。水族館ではイルカショーや大水槽の見学をし、守屋 SA ではフードメニューやお土産購入を皆さん楽しまれました。

○いろいろな海の生き物が見られて楽しかった。

○遠出する機会がなかなかなくいい機会だった。

○みんなでソフトクリームを食べられてよかった。



<7月あしなみ会例会 講演会のお知らせ>

6月の例会では、周愛巣鴨クリニック 花田照久院長先生をお招きして、家族として望ましい姿について学びました。

7月の例会も講演会を開催します。今回は東京つくし会の寺澤元一理事さんをお迎えして、東京つくし会の活動報告とご自身のご家族としての体験をお話していただきます。

寺澤理事さんは、東京新聞の～ひと～ゆめ～みらい～「幸せな社会をつくりたい」で紹介されました。ぜひ、直接お話をお聴きしたいとお願いしたところ、お忙しい中、快く引き受けて下さいました。花田先生のお話に続いて、「家族としての望ましい姿」がより見えてくると思います。暑さ厳しい中ですが、ご参加をお願いします。



記



日 時：令和7年7月19日（土）午後1時半～午後4時

場 所：ボンサンス千寿2階

住所：足立区千住4-3-9 電話：03-3881-6400

テーマ：1、東京つくし会の活動報告

2、家族としての体験

～メンタルヘルス当事者の環境を「北風」から「太陽」へ

講 師：東京つくし会理事 寺澤 元一氏

（精神保健福祉士 社会福祉士）

※入口での手指の消毒、マスクの着用にご協力をお願いします。

◎8月の例会はお休みです。

<会員さんへ、会費納入のお礼>

令和7年度の会費（年3,600円）について、早速払い込みいただきありがとうございました。

<そうめん等を注文していただいた方へ>

ご協力ありがとうございました。

7月の例会時にお渡ししますので、よろしくをお願いします。